

PCOS

発表者: 田中 大輝

1. 会議の概要

- 名称:
The Symposium on Phase Change Optical Information Storage (PCOS) 2010
- 主催／共催機関:
The Society of Phase Change Recording, The Japan Society of Applied Physics, The Ceramic Society of Japan (under applying)
- 開催場所:
Atami New Fujiya Hotel (Atami, Shizuoka, JAPAN)
- 日時:
25-26, November, 2010
- 発表件数:
 - オーラル21件
- 概要:
相変化記録研究会シンポジウムは1990年から始まり、今年で22回目である。
相変化方式の記録に関する結晶化機構、記録材料、構造、装置、およびその応用など広範な相変化現象が研究トピックとなっている。

2. 発表内容

- 田中 大輝 (*Daiki Tanaka*)
Title: "Optical Gate Switch using Phase-Change Material and Si Wire Waveguide"

発表概要:
相変化光ゲートスイッチにおけるスイッチング動作。7往復のスイッチングに成功し、平均の消光比は7dB程度であった。

反響と感想:
国際会議ですが日本人がほとんどだったので、日本語での発表を行いました。
光記録関係の方々に通信分野の内容を理解してもらえよう、できるだけ配慮して喋りました。
いただいた質問は、
①使う波長は今後変える予定があるか、
②消光比、スイッチング速度、書き換え回数などは光スイッチとして十分な性能であるのか、
③スイッチの構造はそれが最適なのか、でした。
相変化材料の専門家の方々による議論は大変刺激的で、私自身もつと勉強しなければならない、という思いを強くしました。
また現地では齋木先生、ホテルで同室だった齋木研M2の本江くん、M1の田島くんにお世話になりました。この場を借りて感謝いたします。
他にも企業の方々の楽しいお話を聞く機会もあり、充実した時間を過ごすことができました。機会があればまた参加したいと思います。